

2019年7月5日

2019年度（令和元年度）第1回 中国地区英語教育学会
理事会

日時：2019（令和元年）年6月29日（土）11:00～12:30

場所：広島大学 教育学部

○出席者：竹野純一郎（会長）、高橋俊章（副会長）、堂鼻康晴（副会長）、大谷みどり、篠村恭子、猫田英伸、小山尚史、深澤清治、猫田和明、松浦加寿子（事務局）、鬼田崇作（オブザーバー）

○欠席者：兼重昇、山根正樹、樋口慎一、山口一成、渡部靖徳

【報告事項】

1. 第50回 中国地区英語教育学会（広島大会）および50周年記念事業について [別資料]

深澤大会実行委員長より、事前参加申込数60名、発表件数22件について報告があった（最終参加者は104名）。

50周年記念事業の学会ロゴについて、紀要編集委員長の高橋先生より事前に理事会のメール審議で承認されたロゴについて説明があった。また、紀要新デザインについても別資料に基づき説明がなされ、参加者による投票を行い、複数のデザイン案の中から決定することが総会で確認された。

記念グッズの作成に関しては、紀要新デザインと学会ロゴが入ったクリアファイルとブックマーカーを作成し、『中国地区英語教育学会研究紀要』第50号の発送の際に同封して会員に送ることが確認された。

『中国地区英語教育学会研究紀要』の名称変更においては、紀要編集委員会で発議し、理事会でメール審議をして名称変更を決定する今後の流れについて総会で承認を求めることとなった。

2. 『中国地区英語教育学会研究紀要』第50号と競争的研究費(Grant-in-aid for CASELE Researchers)について

高橋紀要編集委員長より、紀要編集スケジュールと2019年度のCASELERs研究費の応募スケジュールについて報告があった。

3. ARELE vol. 31の紀要編集委員、査読委員の選出について [資料8]

事務局より、6月3日付にて全国英語教育学会紀要編集事務局（片桐先生）より「ARELE第31号の編集委員、査読委員の選出」について依頼があり、資料8のとおり回答したことについて報告があった。

4. 全国英語教育学会 2019年度第1回理事会について

事務局より、資料9に基づき、平成30年度全国英語教育学会第1回理事会について報告があった。また、8月31日に行われる全国英語教育学会が主催するシンポジウムについて報告がなされた。

5. 全国英語教育学会 第 45 回 弘前研究大会について

事務局より、今年度は 8 月 17 日、18 日に開催予定であることと今後の見通しについて報告があった。

6. その他

事務局より、昨年度作成された役員案の資料の中で理事について誤りが見つかり、総会において誤りの修正および役員案についての事後承認を得ることが報告された。

【協議事項】

1. 2018 年度会務報告・会計報告

[資料 1・2]

前事務局長鬼田先生より、資料 1・2 に基づき、2018 年度会務報告・会計報告について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。なお、榎葉みつ子氏（広島大学）、大森誠氏（呉工業高等専門学校）からの監査報告書により、適正な処理が確認されたことが報告された。

□ 資料 1：中国地区英語教育学会 2018 年度（平成 30 年度）会務報告 [A4 1 枚]

資料 2：中国地区英語教育学会 2018 年度（平成 30 年度）会計決算報告書 [A4 1 枚]

2. 2019 年度事業案・予算案

[資料 3・4]

事務局より、資料 3・4 に基づき、2018 年度事業案・予算案について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。

□ 資料 3：中国地区英語教育学会 2018 年度（平成 30 年度）事業案 [A4 1 枚]

資料 4：中国地区英語教育学会 2018 年度（平成 30 年度）予算案 [A4 1 枚]

3. 『中国地区英語教育学会研究紀要』投稿・執筆要項規程案について

[資料 5]

紀要編集委員長の高橋先生より、資料 5 に基づき、10 ページから 12 ページへの論文のページ数増、カラー印刷対応、投稿時に必要だった査読料の廃止（査読者謝金については変更なし）について提案がなされ、審議が行われた結果、承認された。また、『中国地区英語教育学会研究紀要』の名称変更について今後検討していくこととなった。

4. 第 51 回（2020）中国地区英語教育学会・研究発表会案 について

[資料 6]

大谷先生より、資料 6 に基づき、大会の内容と事業について提案がなされた。審議の結果、原案どおり承認された。

5. 全国英語教育学会第 46 回 中部地区研究大会での課題研究フォーラム

および ARELE vol. 33, vol. 34 紀要編集委員ローテーション について

[資料 7]

竹野会長より、資料 7 に基づき、全国英語教育学会第 46 回 中部地区研究大会から 2 年継続の課題研究フォーラム担当者の候補者の推薦や内容・テーマなどに関するアイデアの提供を各理事にお願いする

ことになった。また、ARELE vol. 33, vol. 34 紀要編集委員長について今後検討していくことが確認された。

6. その他

なし。